





タイ国王 ラーマ10世

## Why The Thai Canal

Thai運河開発の目的は、1:タイ王国300年の夢、サビオ氏の2:南南協力、日本政府の3:インド・太平洋政策、そしてDEVNETの4:SDGsの実行・実現、アフターコロナの世界恐慌に備える5:ASEAN発のニューディール計画、これら5つの課題を1つのプロジェクトで解決するものです。

本計画は、新生DEVNET INTERNATIONALとして2019年12月にローマから東京に本部を移転してから初の世界規模の開発計画となります。

タイ国王は元より世界の王族、国連機関、各国領事館等とともに、2030年(SDGs)、2050年(パリ協定)の解決の道筋を示していきたいと思っています。

2021年2月18日

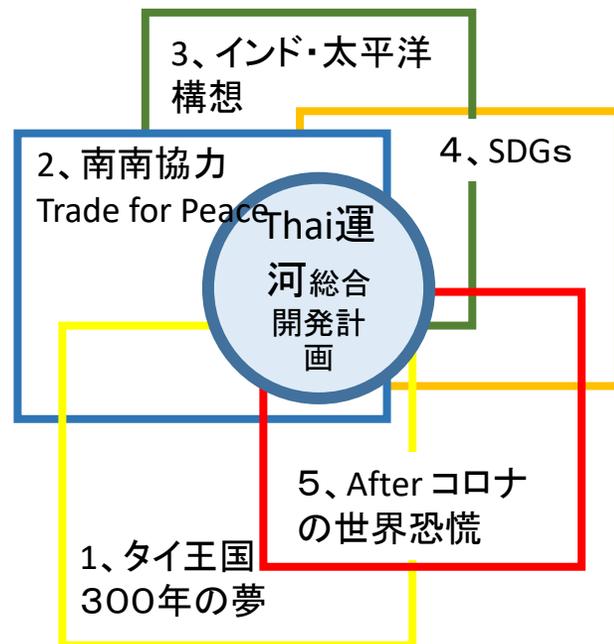
DEVNET INTERNATIONAL  
総裁 明川文保



Tokyo Prince Hotel  
DEVNET INTERNATIONAL  
創設者 ロベルト・サビオ



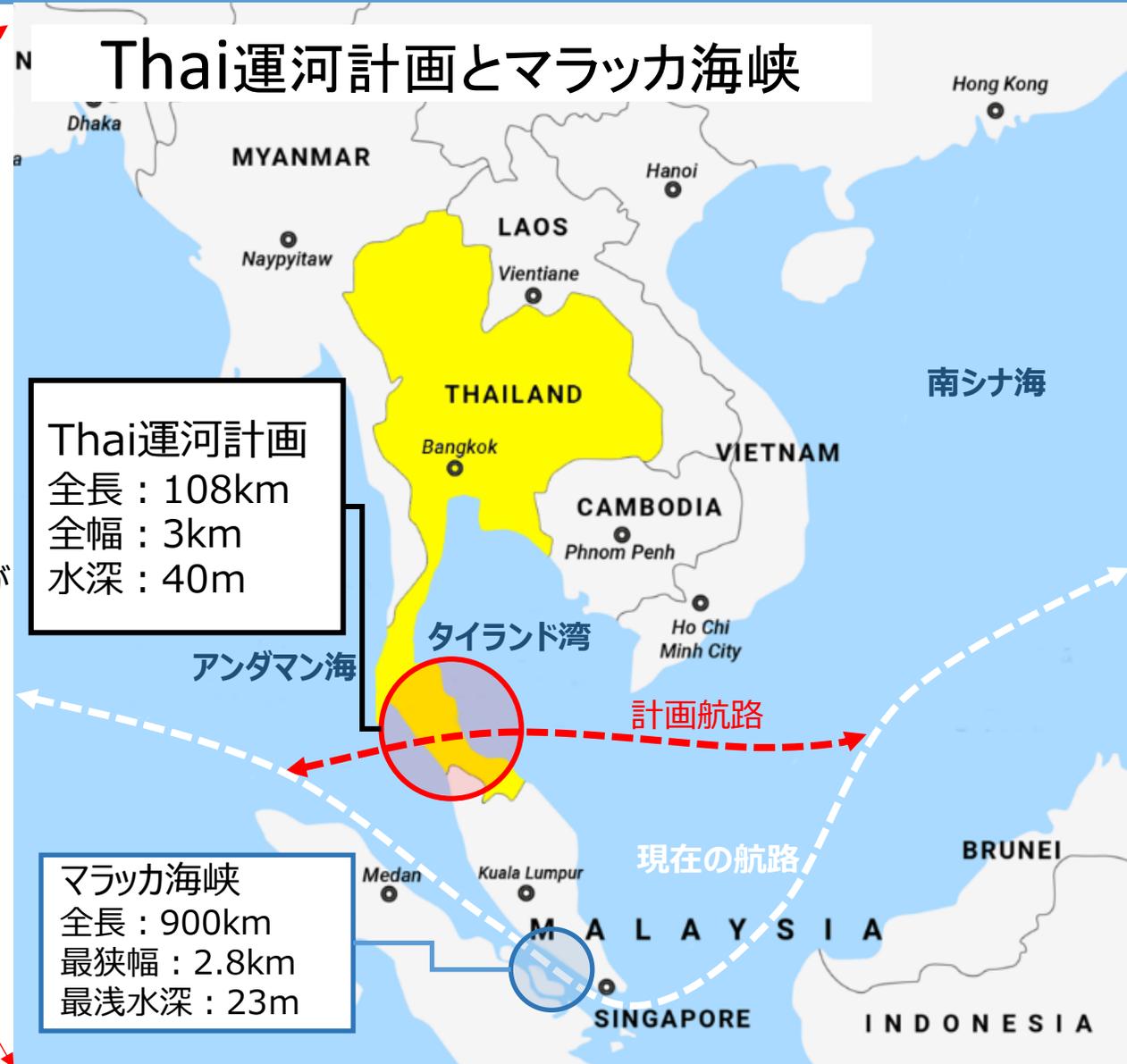
DEVNET INTERNATIONAL  
総裁 明川文保



# Where is Thai Canal



- **Thai運河はクラ地峡（クラちきょう）を横断する全長108kmの運河となる。**  
東の**インド洋**と西の**太平洋**を結ぶ運河となり、海上交通が今後ますます逼迫するマラッカ海峡を補うものとなる。
- 全長108kmのThai運河はスエズ運河（全長:193km）に次ぐ世界2位の**大洋を結ぶ**運河となる。
- Thai運河の開通によって現在の航路を1,200km短縮する。  
時間にすると2日～5日短縮可能となる。
- $108\text{km} \times 21\text{km} (9\text{ km} + 3\text{ km} + 9\text{ km}) = 2,260\text{km}^2$ の総合土地開発
- 人口2,000万～3,000万人居住予定



# When will it open ? / 開通はいつ ?

運河開通：2026年（工期5年）

総事業費（総合都市開発）：約5,000兆円

※運河の収益をベースとしてエネルギー開発

- +自然エネルギー（太陽・風力・波力）
  - +水素エネルギー
  - +水エネルギー
  - +パーム油（カーボンニュートラル）
- を基盤として都市運営

2030年達成へ



2050年達成へ

## パリ協定における主要国の国別目標

EU	・2030年までに、1990年比で、GHG排出量を国内で少なくとも <b>40%削減</b>
アメリカ	・2025年までに、2005年比で、GHG排出量を <b>26~28%削減</b> (28%削減へ最大限努力)
日本	・2030年までに、2013年比で、GHG排出量を <b>26%削減</b>
中国	・2030年までのなるべく早くに排出を減少に転じさせる ・国内総生産(GDP)当たりCO2排出量を05年比で <b>60~65%削減</b>
ブラジル	・2025年に <b>2005年比で37%削減</b> 、示唆的に2030年に2005年比で <b>43%削減</b>
インド	・2030年に2005年比で、 <b>GDPあたりの排出量を33~35%削減</b> (*2020年には2005年比で、GDPあたり20~25%削減)

## ※国際環境基準準拠 2021年

## 2022年

	1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q	9Q
1, 事業計画策定 (調査・調整・協議)	→								
2, 事業主体、事業組織立上		→							
3, 現地事務所開設			→						
4, 現地スタッフ採用				→					

2026年  
運河開通

2030年  
SDGs

2050年  
Paris Agreement

【Thai運河】・全長108km × 幅3,000m

【土地開発】・運河両岸に各9kmの土地造成=2,260km<sup>2</sup>

※108 × (9+3+9) = 2260

※国際物流および金融の拠点として整備

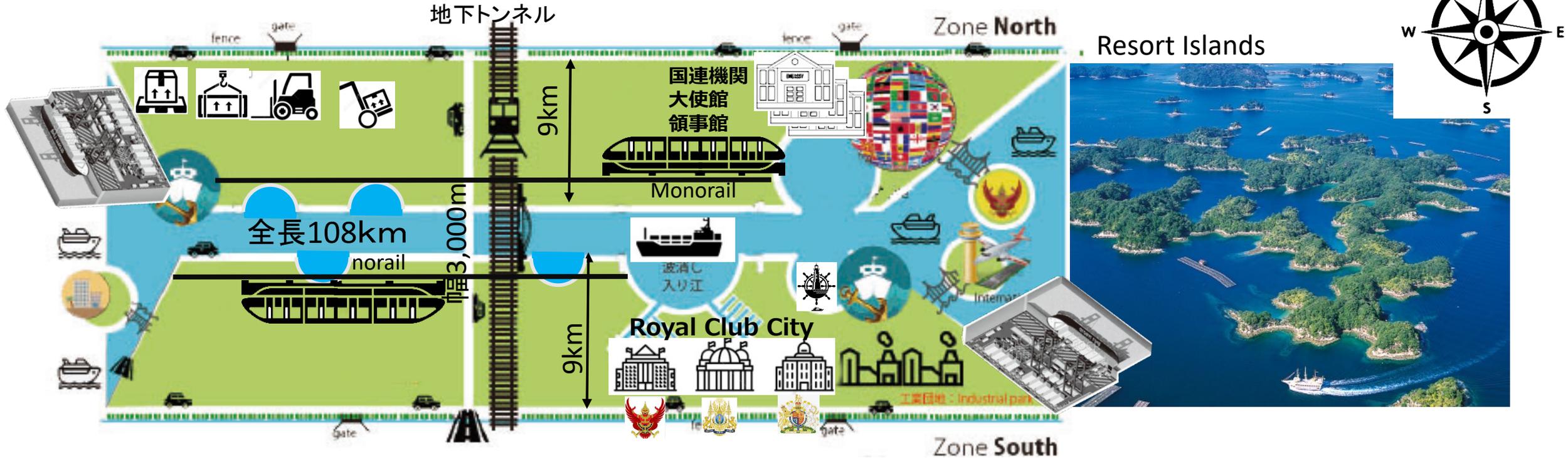
※スエズ運河:

通行料LNG(液化天然ガス)船1隻1回につき5000万円

売上57億\$USD/2019年

# What is Thai Canal ? (1)

Thai運河 = 運河 + 国際都市 (国連機関、大使館、領事館、Royal Club City、F Z/経済特区)



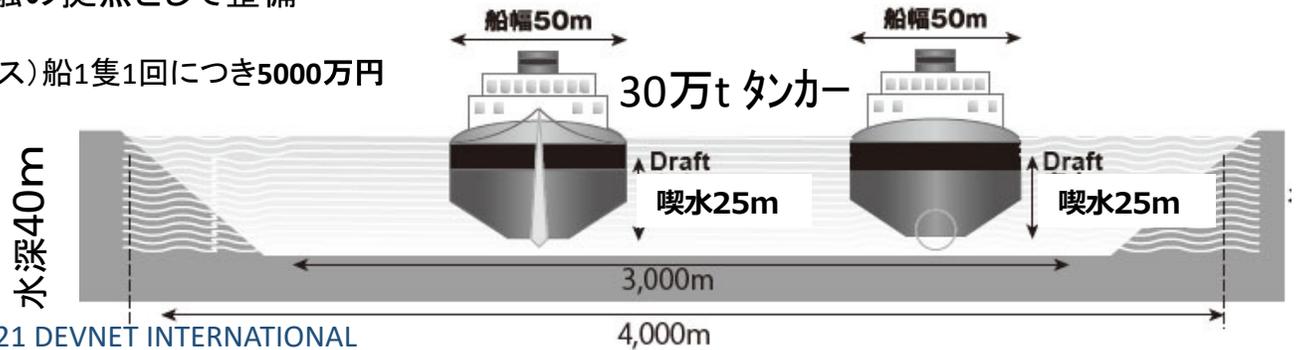
## ☆誘致計画

- 1, 国連機関 FAO, UNDP, etc
- 2, 各国機関 領事館等
- 3, 王族への呼びかけ "Royal Club City"
- 4, 保税特区
- 5, 金融証券・貴金属・穀物 他 国際取引所

※国際物流および金融の拠点として整備

【スエズ運河】

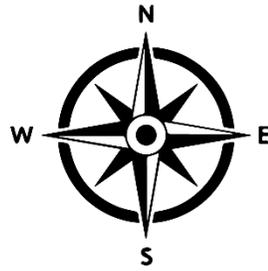
通行料LNG(液化天然ガス) 船1隻1回につき5000万円  
売上57億\$USD/2019年



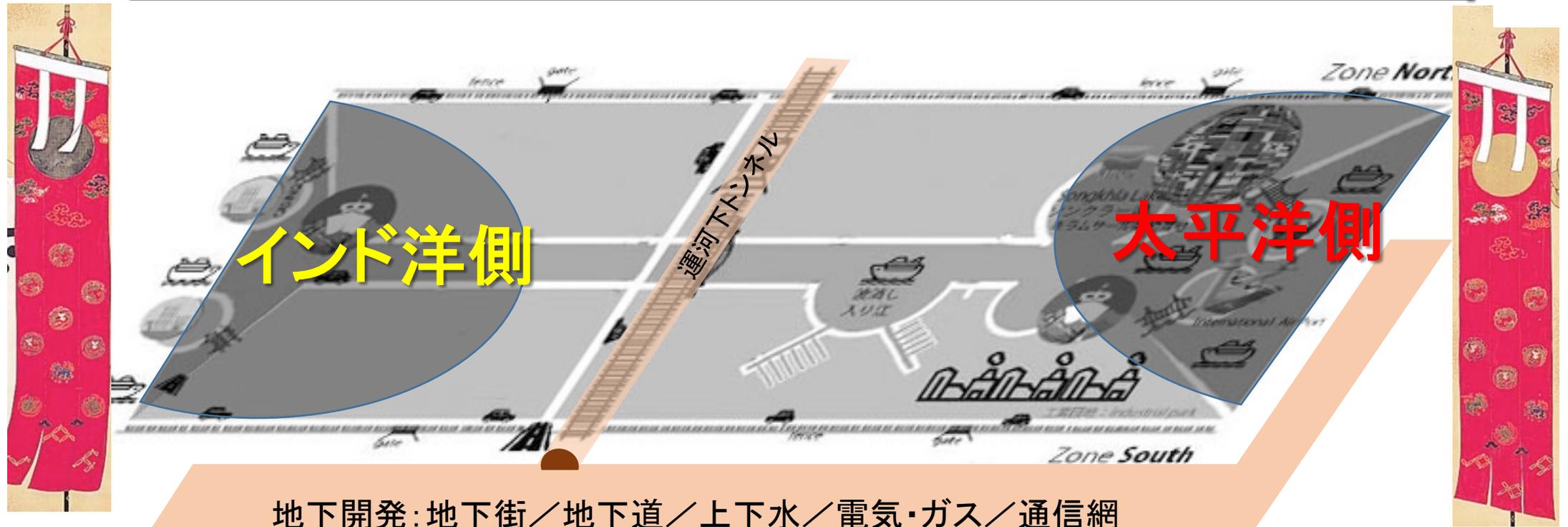
# What is Thai Canal ? (2)



Thai 運河 = 運河 + 環境都市 (水素エネルギーと自然エネルギーを基盤とした自給自足都市)



**Moon City** ← Project: **SOLLUNA** → **Sun City**



地下開発: 地下街 / 地下道 / 上下水 / 電気・ガス / 通信網

【Thai運河都市 : SOLLUNA】

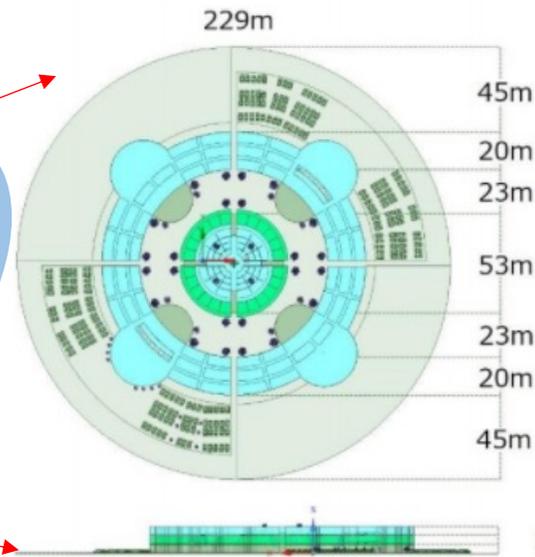
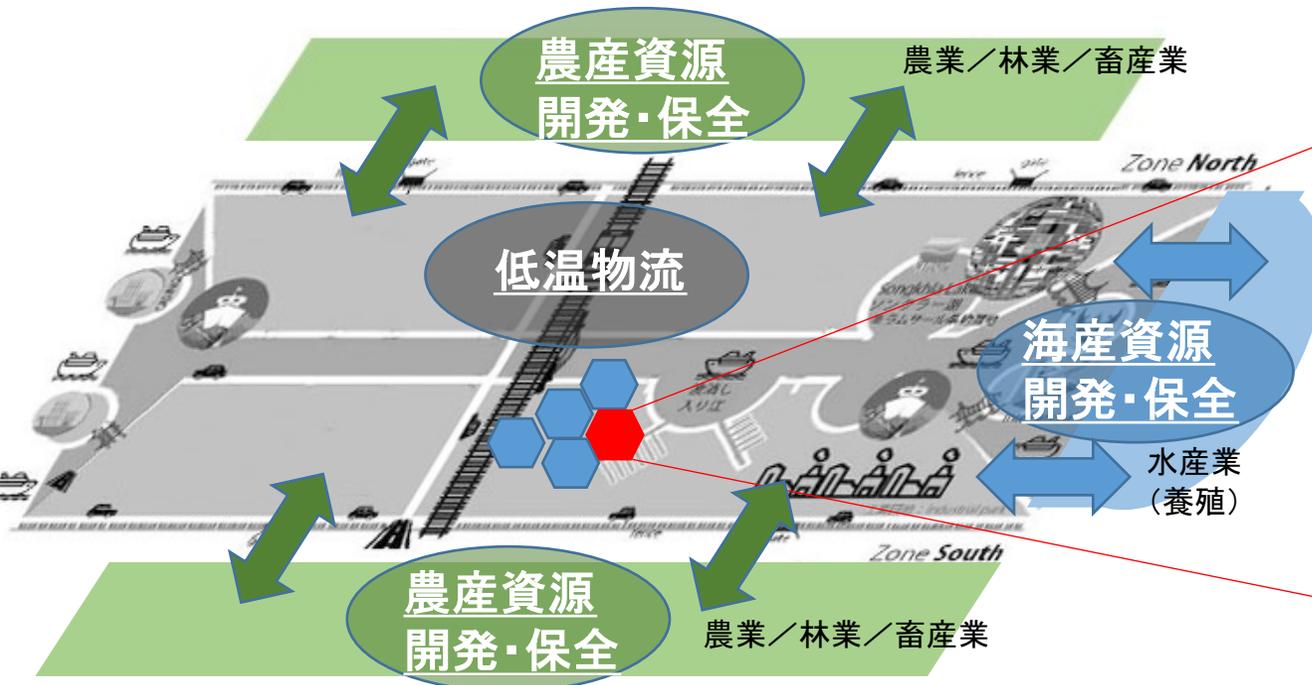
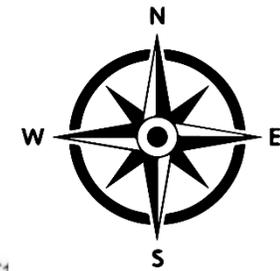
- ・全長108km × 21km × 両岸 = 2,260km<sup>2</sup>の土地開発
- ※シンガポール面積: 728 km<sup>2</sup>、福岡市343 km<sup>2</sup> / 山手線の内側の面積は約63km<sup>2</sup>

# What is Thai Canal ? (3)

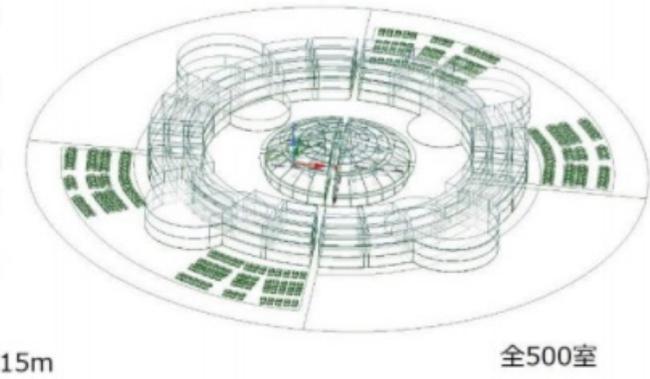


Thai 運河 = 運河 + **自給自足共存共栄型都市 (对感染症、防災)**

## Moon City ← Project: SOLLUNA → Sun City



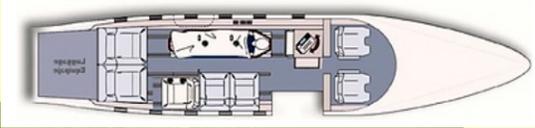
1F : 部屋数 120戸 応急室 1戸  
 臨床室 3戸 救急室 2戸  
 駐車場 200台



食料の保全・保存を資源開発・保全、  
 技術開発 (低温物流) により行う

- 【自給自足可能な居住区画を集積する】
- 1, 大規模開発ではなく小規模開発の集積
  - 2, エネルギー、食糧等 自給自足で賄う
  - 3, 将来の高齢化に備えた区画では病院・介護施設をコアとして開発、子供若年層が多い区画では学校をコアとして開発 etc

# 国際救急医療（災害救助）



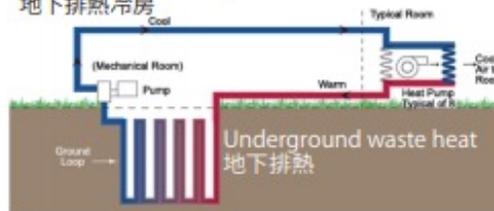
## Super City

- Sky Front  
臨空都市
- Water Front  
臨海都市
- Geo Front  
地下都市

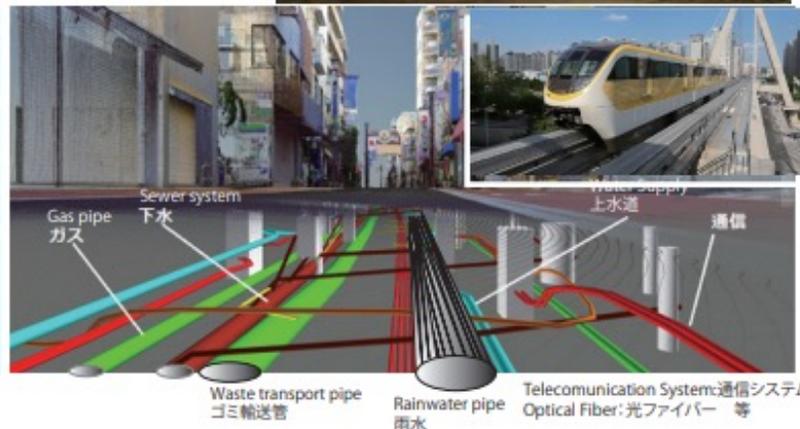
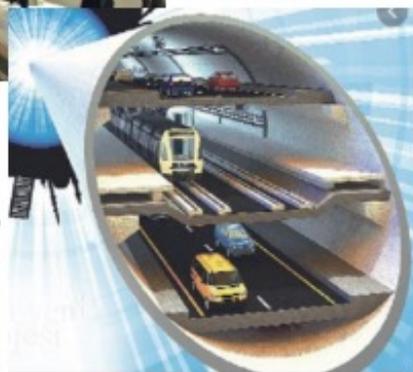
Development area  
開発土地面積: 2,400km<sup>2</sup>  
(21km × 108km) + α  
α: artificial islands  
※人工島建設  
Total sediment volume  
総土砂量: 40 億立米  
4 billion cubic meters



### Geo Thermal Cooling 地下排熱冷房



Underground waste heat  
地下排熱



Example:

Underground city: "RESO" in Montreal CANADA  
area: 1200ha, 面積12km<sup>2</sup>  
500,000 passersby/day  
1日の往来数50万人



## 関係する分野の法人・個人の参加を広く募ります！

### 経済開発

農業	
漁業	
林業	
畜産業	
工業	
自動車産業	
エネルギー産業	
食品加工	
物流基地	
低温度帯物流	
航空・船舶・鉄道・道路	
金融	
証券	
保険	
観光業	
医療・介護	
スポーツ	

### 社会開発

国連機関	
各国機関	
王族	
地域連携	
インフラ整備	
通信	
宇宙	
光ファイバー	
無線通信	
AI	
土木	
空港	
鉄道	
道路	
上下水	
建築	
住居	
教育機関	
幼稚園	
小中学校	
高等学校	
大学	
研究機関	
先端技術	
病院	

### 環境保全・防災

対災害インフラ強化	
エネルギー安定供給	
食糧安定供給	
保健・衛生(感染症対策)	
気象観測・早期警戒	
気候変動リスク対応	
資源確保・備蓄	
水安定供給	

本日、DEVNET INTERNATIONALは  
Thai運河総合開発計画に着手いたしました。

皆様のお力添えを  
どうぞよろしく願いいたします。